

都市交通 決起集会

「車1割削減」をめざし
熊本・広島・岡山
の取組から日本の
地方都市交通を問い直す

2024年 土木計画学研究発表会の初日

11/15(金) 17:45-

@岡山国際交流センター / オンライン

3都市の関係者から 熊本（熊本学園大学 溝上章志）

■ 行政：

- ① **トップ会談が掲げる「車1割削減、公共交通2倍」のレベルに政策の実態を引き上げるにはどうすればよいのか？**
 - ・ 3年ほど前から真しやかに広がってきたキャッチ「車1割削減、渋滞半減、公共交通2倍」は県・市の両首長で共有。
 - ・ 言い続けると、今や都市圏交通政策の目標となりつつある
 - ・ その理論的根拠と実施の筋道（10日に1日、10人に一人）を行政担当者だけでなく、議会や事業所、市民に丁寧に説明
 - ・ その結果は道路混雑緩和と市民の移動支援の両立が可能
- ② **周辺市町はいまだ道路とコミュニティ交通中心だが、都市公共交通政策をどう根付かせる？**
 - ・ 熊本市公共交通基本条例の理念、面的に漏れないエリア分けとそこに提供する適切なモビリティサービスの考えを堅持
 - ・ 幹線と同時に、交通不便・空白地域への移動支援策はどうあるべきか
- ③ **2000年代の野望（鉄軌道4倍、電鉄延伸…）はなぜ実行できなかった？今度はどうすれば良い？**
 - ・ 需要追従、道路整備優先、不明確なアクションプラン、モニタリング不足
 - ・ 適切でこれからの目標に向かったバックキャスト

■ バス：

- ① **公費投入によるサービス増強に向け、民間協調に留まるバス共同経営のスキームをどうすれば良い？**
 - ・ 先進的な民間主導によるバス共同経営推進室のPDCAは高く評価。しかし民間ではもう限界
 - ・ バスだけではなく、タクシーやシェアバイクなども含めた共同経営・MaaSから運輸連合的実効組織へ

■ 軌道：

- ① **問題山積の市電はどのように再建すればよいのか？**
 - ・ 上下分離を機に民間にPSOによる運行を委託
 - ・ 委託内容/費用は自治体や運輸連行的実行組織が計画